



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

ロータリー：変化をもたらす

RI会長 **イアンH.S.ライズリー**
 2570地区ガバナー **細井保雄**
 第3グループガバナー補佐 **木川一男**

「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

第2791例会 2018. 2. 14

—— 平和と紛争予防／紛争解決月間 ——

天候 晴 (NO. 54-33)

会長 和泉由起夫 幹事 土屋良一

例会日 水曜日(12:30～13:30) 当番 川口君、加藤君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 堀江 泰様

【会長報告】

18(日)IM、残念ながら木川ガバナー補佐が欠席となりましたが、実行委員長を盛り立てて成功裡に終わらせて頂きたいと思っております。全員参加のIMは、全員がRCの情報を伝えながら奉仕の理想を深め、勉強する会合と決められております。昨今はテーマを整え、講師を呼んでの講演に代える事が第3グループでは多くなっています。目的は相互の親睦と知識を広め合う事。日高の皆さんは最後までフォローして下さるとの事ですが、全員の方が最後まで居られるとは限りません。1つお願いがございます。ダラーッと声掛けではなく「こんにちは」「よくいらっしゃいました」と明るく声を掛けて頂きたい。そうすると「来て良かった」という気持ちがるものです。基本は挨拶です。全体を盛り上げると同時に、心を込めて挨拶してお迎えしたいと思っております。よろしくお願い致します。

【幹事報告】

次年度から希望者のみ配付となった「ロータリー手帳」。ご希望の方は申込書を事務局にお渡し下さい。本日IMの予行を実施します。

【委員会報告】

- ◎IM総務委員会 大附君
例会後、詳細の打ち合わせを行います。
- ◎プログラム委員会 吉澤君
2/28第2793例会の講師は女優の和泉雅子様「女優になったわけ～探検家として北極点制覇したお話」に変更となりました。

【出席報告】無届欠席0 細田(吉)出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	54名	94.74%	87.72%

【M U】

1/19 (地区) 木川君

【結婚・誕生日祝】

- 大野(泰)親睦活動委員
- ◇入会記念日おめでとう
齋藤君、大附君、馬場君、矢島(高)君
大野(康)君、細田(吉)君、川口君、中里(光)君
- ◇結婚記念日おめでとう
市川君、大木君、森君、齋藤君、田中君
- ◇会員誕生日おめでとう 5 細田(吉)君、8 増島君
11 細田(伴)君、12 加藤君、28 矢島(高)君
- ◇夫人誕生日おめでとう
1 木川夫人、12 福島夫人、20 細田(吉)夫人
20 川口夫人、22 橋本夫人、24 小川夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・お誕生日お祝い有難うございます。
細田(吉)君、矢島(高)君、加藤君
 - ・妻の誕生日お祝い有難うございます。橋本君
細田(吉)君、小川君、川口君、福島君
 - ・入会記念お祝い有難うございます。
大附君、細田(吉)君、矢島(高)君
馬場君、大野(康)君、川口君、中里(光)君
 - ・結婚記念日お祝い有難うございます。
森君、田中君
島田君
高橋君
 - ・遅刻
 - ・早退
- 本日計 50,000 円、累計額 700,501 円。
◎28日例会当番は増島、間邊会員です。

【卓 話】

講師紹介

奥富環境保全委員長
1980年、所沢生まれ。聖望学園高校卒業後、2000年、ご実家の堀江車輛電装(株)に入社。12年、4代目代表取締役就任。本社は東京都千代田区。日高作業所、横浜作業所を展開、主に西武鉄道、東急電鉄の車輛事業を拡大。15年、障がい者支援事業を立ち上げ、38歳とお若い社長ながら活躍されています。

堀江車輛電装株式会社の 社会貢献活動への取り組み

堀江車輛電装(株) 代表取締役 堀江 泰様

〔会社紹介映像の上映後〕当社は鉄道車輛の整備・改造事業、障がい者支援事業、ビルメンテナンス事業を展開しております。今期で50期目。先代の父から6年前に事業を承継、株の移譲も終え、代表権を持ったオーナー社長として指揮をとっています。今、電車の性能が良くなり、ほとんど直す所が無くなってきています。鉄道車輛一本では今後厳しいものがあるため、事業を多角化している状況です。西武鉄道武蔵丘車両検修場内の様子。西武の車輛保有数は1300輛位、全て当社で清掃します。整備と併せ改造事業も行っており、都心で走っている廃車となった電車を改造、地方に譲渡する仕事も請け負っています。

1) 障がい者支援事業部の設立

たまたま障がい者スポーツの講演会を聴きに行き、私がサッカーをやっているものから帰宅して「障がい者 サッカー」と検索したところ、知的障がいのある方の日本代表チームの動画が出てきたのです。その動画に感動し、知的障がい者サッカー連盟に「ボランティアで何か出来ませんか」とメール。そこから関わりが始まりました。

大きく分けて4つの障がいがあり(身体障がい400万人位、知的障がい75万人、精神障がい400万人、発達障がい)、日本の人口の6%の方が障がいのある方とされています。

「就職紹介」と「障がい者スポーツサービス事業」の2軸を展開。「障がい者雇用促進法」で「2%」、社員50名の会社で1名、1000名なら20名の障がい者の雇用が義務化され、人材不足と法定雇用率を満たすため、新事業として「就職紹介」をしています。「トライアングル」という障がい者支援事業部のサービスに登録して頂き、専門資格をもった社員と面接の上本人の希望に合った就職先を探して紹介するしくみで、戦力となる方を紹介して企業様から費用を頂くというビジネスモデルとなっています。大学のキャリアセンター、障がい者支援機関、行政窓口と連携、障がいのある方の強みを最大限活かすような事業展開をしています。紹介して終わるのではなく、継続的なサポートも行っています。「障がい者スポーツサービス事業」では、学生向けにスポーツを通して障がい理解を深めてもらう啓発活動を行っています。明治学院大学での出張授業。保有する6台の車椅子に乗ってもらい、障がいのある方の気持ちになってもらおうというもの。東京都から受託事業で、リオ・パラ五輪テニス女子ダブルス4位入賞の二條実穂氏を講師に開催した、子ども向け車椅子テニス教室。これらは事業というよりも理解を深めていくようなかたちが出来れば、という思いでやっています。



2) 自社の障がい者雇用

全従業員54名中6名が障がい者です(11%)。発達障がいのA氏は障がい者支援事業部所属。当社で企画、書類整理等を担当。B氏は大学卒業後一度も就職しておらず、6、7年無職の状態でしたが、当社で実習をした上で能力が高いという事で

正社員雇用し3年目。一生懸命頑張っています。ビルメンテナンス事業部の社員が5名。40代のパート・C氏は元ホームレス、生活保護を受けていた方ですが、入社後は一人で現場をもちながら日々清掃業務に励んでおります。

彼らに共通するのは、当社にとって戦力になっているところ。一人で現場に行き、一人で作業し、自分で報告書を出す。通常働いている社員と変わらないような仕事を担当しています。障がいがあるからと単価を下げられるわけでもなく、健常者と同じような金額をお客様から頂いて作業をしています。

知的障がいのあるD氏28歳は専用器具を使いこなし、お客様に「ここはこうしたらどうですか」と自ら提案も行うような優秀な社員。知的障がい者サッカー日本代表選手として10代の頃から海外の強豪と国際大会を戦っています。鉄道車輛事業は縁の下の力持ちで、マスコミに出る機会は少ないのですが、彼の活躍のお蔭で、新聞・雑誌・ウェブ媒体からの取材は昨年だけでも10社以上。ブランディングという面からも活躍しているような状況です。

3) 飯能で行われた子ども向けのイベント

マスコミに取り上げて頂く機会がないかと思った時、鉄道車輛事業を活かし、障がいのあるお子様に楽しんでもらえるような何かが出来ないかと思いました。宮城県石巻市の(梱包材加工会社)社長で、段ボールの「ダンボールギーニ」を作った彼とは元々友人同士で、企画に賛同してくれ、「段ボール電車」を作りました。高さ3m、実際の電車と同じで、運転台でコントローラー操作が出来ます。昨年2月に飯能市社会福祉協議会のお声掛けで共催。過去に夏祭りの集客は600名程だったそうですが、1200名の方が来場。10~17時の間ひっきりなしにお客さんが居たというイベントになりました。11月「はんのう生活祭」にも電車ブースをボランティアで社会貢献出店しました。

社会貢献事業を展開して来た原動力は、障がいのある方とサッカーを通して知り合い、当事者、支援者、親御さんの気持ちと直に触れ合う機会がすごく増えた事です。「ボランティアで解決するのは難しい」と感じて、3年前「障がい者支援事業」というかたちで専門的な社員を新規採用。事業を立ち上げた事で、鉄道会社としか繋がりの無かった当社には多くのマスコミやスポーツブランドの方、今までに無かったような方々と繋がる機会が増えました。企業として価値ある活動だったのではないかと思います。

これからも、当社の基本理念である「柔軟な発想と実行力で広く深く社会に貢献する企業」を目指し、より一層頑張っていきたいと思っております。飯能市でのイベント等でお世話になる機会があると思いますが、また、個々の企業様からでもお声掛け頂ければ何かしらのご協力が出来るとは思っていないかなと思っております。